

テクノバリア TB-2 施工要領書

1. 施工するコンクリート面は、健全な部分が露出するまで劣化したコンクリートを除去する。
2. 鉄筋が発錆している場合には、防錆処理を施す。
3. 施工するコンクリート面にプライマーとしてテックス7（塗布量 150g/m²）をローラー刷毛等で均一に塗付する。
4. プライマーの指触乾燥後、均一に練混ぜたテクノバリア TB-2（配合は下記表を参照）を金コテで規定の厚さに均一に塗布する。この時必要以上に押えて表面にノロを浮き出させないこと。
5. コテ仕上げ後の養生は、適切な処置を行う。また、急激な乾燥・温度変化・凍結・結露等の可能性がある場合には、適切な処置を行う。

1袋当りの配合と標準練り上がり量				単位容積 質量 (kg/L)	1m ³ 当りの配合		
テクノバリア TB-2 (kg)	水 (上水道水) (kg)	強化液 (kg)	練り上 がり量 (L)		テクノバリア TB-2	水 (kg)	強化液 (kg)
20 (1袋)	2.8	1.4	約 11.6	2.09	87袋 (1,740kg)	243.6	121.8
					2,105.4kg/m ³		

注) 練混ぜ水量は、施工時の気温・施工方法によって変化します。

1袋 (20kg) 当り 4.0～4.5 kg (3倍液) の範囲で調整して下さい。

1回当りの施工厚さと 1 m ² 当りの標準使用量				1袋 (調合物) 当りの施工面積 (m ²)
1回当りの 施工厚さ (mm)	粉体、水、強化液 調合物の標準使用量 (kg/m ²)	テクノバリア TB-2 (粉体) 標準使用量 (kg/m ²)	強化液 標準使用量 (kg/m ²)	
3	6.318	5.22	0.366	約 3.8
4	8.424	6.96	0.488	約 2.8
5	10.530	8.70	0.610	約 2.3

注) 現場での保管は屋内が理想だが、やむを得ず屋外に保管する場合には雨が直接当たらないようにパレットを引き、ブルーシートを掛けブルーシートが飛散しない様に養生を行う。

<使用上の注意事項>

1. 製品の取扱いは、セメントに準じて行って下さい。
2. 破袋または、開封後、放置した製品は使用しないで下さい。
3. 練混ぜ水には、飲料水または上水道水を使用して下さい。
4. 製品が皮膚に触れた場合などには、セメントと同様に処置して下さい。

注) 取扱いに関する詳細な注意事項は、安全データシート (SDS) をご参照下さい。